



なし

食品団地	景況は、業種、業態によりバラツキが見られるが、全体的としては「不変」若しくは「やや好転」といったところ。原材料価格や仕入値の高騰により、売上の増加が収益に繋がっていない事業者も見られる。菓子・パン、土産など観光関連の製造事業者は、引き続き堅調を維持している模様。
テントシート	原材料の高騰を販売価格への転嫁が出来つつあると思われるなか、本年2月1日より製品の値上げがあり(商品によるが0.05%~0.25%)、またまた厳しい状況である。
木製品素材生産	1月期の原木出材量は、先月に引き続き天候にも恵まれ順調に入荷している。しかし、丸太価格については、依然として引き合いはあるものの製材品の価格が上がりず全体的に横ばい状況。今後も積雪がなければ順調に入荷する状況であり、年度末に向け増産に期待。丸太価格については、一部(杉3m)で若干値上がりしているところもあるが、全体的にはほぼ横ばいで推移している状況であり、今後については、市況の動向が見通せず大きな変動は見込めない。
製紙(家庭紙)	紙製品全体としては、販売金額は前年同月比で減少した。さらに販売量及び生産量も減少した。品目別では、雑種紙が販売金額及び販売量が前年同月比で上回ったのに対し、衛生用紙は販売金額及び販売量ともに下回った。
製紙(手すき和紙)	原材料ほか高騰がまだまだ落ち着かず、物価高騰により趣味嗜好を抑える傾向があり、まだまだ厳しい状況である。例年1月は動きが悪いが、今年は少しだが動きが例年より良い。
印刷	久しぶりに売上増、設備操業度も上昇。今期は選挙特需、地域振興券で潤った。地域振興券需要は今後も継続しそう。県外需要についても前年並みに回復している模様。
生コンクリート製造	1月度の組合員の単月出荷量は、対前年比77.2%、4月からの累計出荷量も対前年比82.4%で前月に引き続き低調であった。また、地域的な傾向も前月同様な傾向であった。
コンクリート製品	対前年同月比87.6%。補正予算の発注がされており、今後は前年度以上に推移すると推測している。
刃物製造	今月は商品、付属品及び備品がタイミングよく入荷し、出荷も順調にでき売上を伸ばすことができた。
機械団地	団地内の売上や収益状況は、総じて横ばい傾向で推移しており、特段の変化は見られない。
船舶製造	高水準の生産が継続している。
珊瑚装飾品製造	1月度の取引額は前年同月比で152%となり、9カ月連続で前年を上回る結果となった。コロナ前の水準に戻りつつある。
生鮮魚介卸売	1月は前年より売上高は増加した。しかし、天然ブリが例年になく不漁でほとんど入荷してこなかった。カツオがシーズンオフでブリが不漁、他の魚も入荷が少なく、大変である。
中古自動車小売	高年式の良質車の需要が伸びているが、慢性的な流通量不足も相まって相場の高止まりが続いており、仕入れに関しては厳しい状況。来店数・注文車の件数も伸びている。

商店街(高知市)	1月の駐車場利用台数は、前年同月比112.8%(2,995台増)となった。要因として、おまち多目的広場等でのイベント開催により、土日祝の増加率が高かったことが挙げられる。あわせて、料金収入も前年同月比105.5%(430万円増)となった。人流カメラによる集計では、1月の来街者数は前年同月比3.7%増となった。1月10日~2月1日にひろめ市場および大橋通り商店街で開催された「よさこい高知宵の舞」や、おまち多目的広場のイベント効果により、来街者の増加に繋がったと考えられる。
商店街(四万十市)	市観光協会のイメージキャラクター猫5匹の名前が決まり、人気を集めている。空き店舗に飲食店が数件入り、昼夜の人の動きを増やしている。
旅館・ホテル	宿泊人数は前年と同程度に落ち着いている。宿泊・宴会共にマーケットの動向で悪くないが、人手不足やリネン業者の供給不安定で経営持続に苦労がある。
旅行業	組合クーポン前年同月対比246%、全旅クーポン合算後108%。前年度比較で、売上改善の傾向が顕著になっているが、まだまだ見通しは楽観できないと感じる。
IT事業	1月の売上は、前年同月比で6.7%減となった。一方で、過去5年平均と比較すると、約4.3%上回る水準を維持している。大口案件は少なかったものの、AI活用などの新分野における取り組みにより、売上減少分を一定程度補う結果となった。また、社会全体の動向としても、AIに関する記事や講演に触れる機会が増えていると感じている。IT関連事業者として、常にアンテナを高く張り、AIをはじめとする最先端の情報を組合内で共有しつつ、顧客に対して的確な提案ができる体制を引き続き整えていきたい。
一般土木建築工事	依然として人手不足が続いている中、資材高騰の影響もあって収益率は低く推移している。
電気工事	組合員の施工する電力引込線工事は、前年同月比186.1%となった。各地区増減があったが、特に高知中央地区が大幅に増加し、香長地区が減少した。
タクシー	実働1日1車当りの前年同月対比運送収入:100.1%、回数:101.3%、実働率:51.7%。年末から正月にかけて少し人が動いたせいか、実績も回復傾向であった。しかし、また少し陰りが出ているようである。運転者がなかなか増えず、このままではと頭を抱えている現状である。

酒類製造	原料米や資材、物流費の高騰が続く中、昨秋に価格改定を行っていなかった事業者では、春先の価格改定を予定しているところもあり、値上げによる消費の鈍化が懸念される。
製材	新築住宅着工件数が減少しているなかで、県外業者の参入もあり、厳しい状況が続くとの声が多い。
建具	建具材料代の高値高騰が続いているため、仕事量が少ないし、収益状況も悪化してきている。高齢の方の廃業も出てきている。
卸団地	年末年始を休業する店が多くなった。また、成人式の連休の動きも落ち着いた状況であったため、業界全体が落ち着いていた印象が強い。仕入品やガソリン代など値上げが続くものの、販売価格に十分転嫁できず利益が減少している。
青果卸売	1月の取扱高は、組合員全体で前年対比97.1%となった。前月よりは落ち込み幅は少ないものの、人件費などの経費も上がり相変わらず苦しい状況。
各種小売(四万十町)	1月も町内の景気動向に目立った動きはない。当組合では、毎年お盆と歳末に実施していたポイントセールの内、お盆期間実施分を春の卒入学シーズンに移行実施するよう企画している。個店での取り組みにも限界がある中、少しでもプラスの影響があればと考えている。
電気機械器具小売	1月は、全商品平均で前年比92%。4K8Kテレビは前年比90%であった。全体として大変厳しい。
ガソリンスタンド	昨年より全国平均ガソリン販売価格は少しずつ下がりが気味であったが、1月末11週ぶりに値上がりとなった。ロシアとウクライナや中東でのアメリカの対応により、またまた原油価格に影響が出るかもしれない。今後の動きに注視したい。
商店街(安芸市)	宮城県岩沼市より市議会自由民主党政策フォーラムの方々が視察に訪れた。地域にかがやくわがまち商店街表彰2024受賞の効果である。
飲食店	集客は前年同月を下回る。販売価格は上昇しているので売上高は前年同月と同程度だが、物価高に価格転嫁が追いついておらず、収益は悪化している。前年同月に比べ、インバウンド・県外ともに観光客は減少。前年度同月に比べ更に物価は高騰。光熱費・仕入価格・人件費、ありとあらゆるものが上昇しているが、顧客離れによる集客の低下の懸念から業界の価格転嫁は十分ではない。
クリーニング	物価高による節約志向や寒さの影響が落ち込んでいる。最低賃金アップによる人件費上昇、資材高なども加わり収益状況は厳しい。チェーン店では不採算店舗をさらに整理し、絞り込みを行っている。人手不足は深刻で、営業時間短縮、休憩時間を入れるなど対応しているが、いつまで続けることができるかわからない。リネン業界は堅調。人手確保には苦心している。
一般貨物自動車運送	燃料価格は2円程度の値下げとなったが、荷動きは上向いていない。ドライバー不足も解消できない状態で、労働環境・賃金改善など課題が山積しており、組合員企業の経営は厳しい状況が続いている。